

第6回ITF(国際交通大臣会議) 「Transport Achievement Award」を受賞しました

2013年5月23日に、ドイツ・ライプチヒで開催中のITF(国際交通大臣会議)において、当社が「Transport Achievement Award」を日本で初めて受賞しました。

本アワードは、今年のITFのテーマである「交通と資金調達」に関して優れた取り組みを行う者に対して表彰されるものです。この度、新関西国際空港株式会社は、日本初となる複数空港の一体運営、戦略的な資金調達・拠出、それによる日本初の拠点型LCCの実現等、コンセッション実現に向けた両空港の事業価値向上の取り組みが高く評価され、受賞となりました。

<受賞の様子>



今回の結果について、代表取締役社長・安藤圭一は、次のようにコメントしております。

このたびの受賞は、弊社がこれまで行ってまいりました次のような戦略的な取組みによる「新関西空モデル」を、国際交通大臣会合という権威ある国際組織に高く評価いただいた結果であり、喜びに堪えません。大変名誉なことでもあります。

まず、航空の多様なビジネスモデルに沿ったターミナル整備及び戦略的な料金設定などの効果的な資金の拠出によって、関西国際空港(KIX)の24時間空港という特性を最大限活かす努力を続けてきたことです。これにより、東日本大震災の影響の残る昨年、日本初となる拠点型LCCの立ち上げが実現し、関西から日本を元気にしていくきっかけの一つになったものと自負しております。また、航空貨物の分野では、関西空港2期島に新たなアジア太平洋の貨物ハブとなる施設整備や深夜早朝時間帯の着陸料の割引を実施して、市場の活性化に取り組んできたことです。

次に、昨年7月の関西国際空港と大阪国際空港の統合により、両空港の経営資源を一つにまとめ、日本初の複数空港運営に着手することができました。このような取組みを踏まえ、補給金にたよらない自立した経営、事業価値の向上、そして、日本初の大規模交通インフラのコンセッションによる完全民営化に向かって取り組んでまいります。

今回、日本で初めてであり、空港としても初の受賞の栄誉を担い、これを糧に、一層、お客様に親しまれ、また、我が国の国際競争力強化に資する空港を目指してまいります。

【ITF 概要】

ITF(International Transport Forum)は、加盟54か国の交通大臣、交通関連企業のCEO、学識経験者等が集まり、世界全体にとって戦略的に重要なテーマを取り上げ、交通政策に関する方向性を打ち出す国際枠組み。2007年に、欧州の交通大臣が集うECMT(欧州運輸大臣会合)が発展的に改組され、欧州以外の諸国を含むグローバル会議として、現在のITFとなり、以降毎年5月、ドイツのライプチヒにて全加盟国による会合が開催。2012年には、日本がアジア初の議長国に。2013年で6回目(5月22日～24日)。

(参考)

- ・「Transport Achievement Award」ファイナリストとなった組織
 - 国立銀行(公共事業)(メキシコ) 公共交通機関支援プログラムについて
 - ザンクト・ガレン州(スイス) 歩道/自転車道路改良整備にかかる独自の取り組みについて
 - サンセバスティアン交通(スペイン) 高効率な公共交通機関システムの構築について
 - 新関西国際空港株式会社(日本)

・ITF Transport Achievement Award 掲載ページ

<http://2013.internationaltransportforum.org/awards>